

共同調達会議における次世代校務DXビジョン

【別添2】

校務のデジタル化とセキュリティ対策を講じたクラウドの活用により、教職員の働き方を柔軟かつ効率的なものに改善することで、教育活動に専念できる環境を整備する。また、連携した教育データの利活用によって個別最適な学びの充実を図るとともに、子どもたちが自ら学びをデザインできるような資質能力を育む。

【地域の校務DX化が実現された状態】

学校に関わる全ての人のWell-Being[※]

教職員の事務を軽く × 子どもたちとの関わりを深く = とちぎの未来を拓く

(子どもたちと向き合う本来の教職員としての時間を確保)

教職員の働き方改革

県域共通次世代型校務支援システム
(パブリッククラウド)

生成AI

デジタル活用による校務効率化 重複した入力作業が不要

ペーパーレス化・デジタル化による印刷・集計の業務負担軽減

場所等にとらわれない柔軟な働き方の実現

県の統一帳票による業務標準化

域内自治体間の異動負担軽減 進学や転出入時の情報引継ぎ

連絡等の利便性向上

クラウド活用

汎用クラウドツール

保護者連絡システム

セキュリティ環境構築

情報伝達の迅速化・活性化

連絡や手続きの効率化

充実した個別最適な学びの実現

教育データ利活用
(連携・可視化)

教育ダッシュボード

1人1台端末

教師の見取りの充実 的確な学校支援

学習者の自己理解の充実

子どもの学校での様子を把握

※Well-Being…身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念。